

「浜松市パートナーシップ宣誓制度5周年記念 パネルディスカッション」開催について

浜松市が2020年4月に、県内初のパートナーシップ宣誓制度を開始してから、5年が経過しました。その間、宣誓数も2026年1月末現在130組まで増え、性の多様性の理解も少しずつ進んできました。

そこで、これまでの5年を振り返り、またこれからを見据えて、この制度をより良いものにするために、市民の皆様と一緒に考えていくイベントとして、「浜松市パートナーシップ宣誓制度5周年記念パネルディスカッション」を下記のとおり開催いたします。

つきましては、ぜひ取材にお越しいただきたくお願い申し上げます。

記

- 日 時** 令和8年2月8日（日）13時30分から15時30分（予定）
- 会 場** はまこら（浜松市市民協働センター） 2階 第1・2研修室
（浜松市中央区一丁目）
- 内 容** 第1部 制度創設の経緯と現在についての説明
（浜松市UD・男女共同参画課、浜松パートナーシップ連絡会より）
第2部 パネルディスカッション
- 出 演** 静岡大学情報学部 教授 笹原 恵 氏
浜松TG研究会 代表 鈴木 げん 氏
にじいろ安場 in 浜松 代表 大畑 智矢 氏

【参考】「浜松市パートナーシップ宣誓制度」の概要

浜松市におけるパートナーシップの定義は、互いを人生のパートナーとし、相互に責任を持って協力し合うことにより、共同生活を行うことを約束した二人の関係としています。
※同居していなくても対象となります。

浜松市のパートナーシップ宣誓制度では、性的マイノリティの人に限らず、様々な事情により、婚姻の意思はあっても、現行の婚姻制度を利用できず（又は利用せず）、悩みや生きづらさを抱えている事実婚の人も対象としています。

この制度は法律上の効果（婚姻や財産の相続、税金の控除等）が生じるものではありませんが、宣誓されたお二人のパートナーとしての思いを尊重し、浜松市として応援するものです。

